

平成 30 年 8 月 7 日

報道機関 各位

富山大学メディカルデザインセンター キックオフ（ワークショップ）

地域企業と当学全学の産学連携で医療・福祉機器／サービスの開発を行って行くために、当学は本年度よりメディカルデザインセンター（仮称）を立ち上げることになりました。来る8月10日には同センターのキックオフとしてワークショップを開催します。

ワークショップでは、バイオデザインと呼ばれるスタンフォード大学で確立された先端的な開発手法を用い、企業の開発担当者や全学の大学教員と一緒に医療・福祉の現場（富山大学附属病院の手術室やリハビリ室など）を観察して、ユーザー（患者および医療従事者）の潜在的なニーズを探索するというユニークな実習を実施します。本企画は地域の産業の活性化に大きく貢献すると期待されており、富山県の後援を受け、また経済産業省中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局との共催イベントとなっております。このように地域にとって重要な取り組みであり、また今後、北陸地域におけるこの取り組みが全国のモデルとなっていくものと考えられます。つきましては取材・報道方よろしくお願ひ申し上げます。

なおメディカルデザインセンターは今後、医療・福祉機器／サービスの開発に関する産学連携のプラットフォームとなります。本学大学院生命融合科学教育部博士課程においては本年度4月よりメディカルデザイン研究教育プログラムを開始しており、このプログラムは企業の開発担当者を大学院生／研究生として受け入れ、バイオデザインの手法を採り入れた医療・福祉機器／サービスの開発を教育面から支えていきます。

【本件に関する問い合わせ先】

富山大学 大学院理工学研究部（工学）
田端 俊英（たばた としひで）
TEL. 076-445-6742

富山大学メディカルデザインセンター・キックオフ（ワークショップ）
プログラム 2018. 8. 10.

司会：田端（大学院理工学研究部）

時刻、場所	項目	内容	ポイント	指導者
13:00～13:15 多目的研修室	イントロ	<ul style="list-style-type: none"> ● 本日の流れ ● 遠藤学長挨拶 ● 二階堂研究推進理事から紹介 <ul style="list-style-type: none"> ➢ メディカルデザインセンター ➢ 大学院メディカルデザイン研究教育プログラム ● 講師紹介 	<ul style="list-style-type: none"> ● 企業と富山大学全学の産学連携研究の統一的な窓口、交流の場 ● 事業の海外展開における PhD 学位の重要性 	
13:15～14:30 多目的研修室	講義	<ul style="list-style-type: none"> ● バイオデザインの手法と応用 <ul style="list-style-type: none"> ➢ バイオデザインの歴史、展開 ➢ バイオデザインの6ステップ・プロセス ● 現場観察のコツおよび注意事項 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 守秘義務 ➢ 写真撮影禁止 ➢ 患者の通行、業務を妨害しないこと ➢ 筆記具等を落下させないこと 	<ul style="list-style-type: none"> ● バイオデザイン（デザイン思考）の特長と従来の開発方法の違い ● 開発初期にニーズや解決法を限定しないことの重要性 ● Innovator team を門外漢、多様な人材で構成することの重要性 ● バイオデザインに関するリソース ● 企業や研究機関へのバイオデザイン（デザイン思考）の導入法 	田端
14:30～14:45	休憩		<ul style="list-style-type: none"> ● 指導者の指示に従って移動、着替え 	
14:45～16:00 各部署 15 分間 チームごとに ローテーション （別表参照）	病院施設実習	<ul style="list-style-type: none"> ● 医療現場におけるニーズ探索 <ul style="list-style-type: none"> ➢ チーム分け（5名ずつ） ➢ 指導者による、各部署とそこで働く人々の役割、疾病、術式、治療法、問題点等の概説 （※現場関係者が現場で期待されている問題解決用を述べてはならない） ➢ 現場の問題を探索 ● 病院施設実習に参加しない方は多目的研修室でビデオ学習（スタンフォード大学教授池野先生講演） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 初期段階で観察ポイントやニーズを絞らない ● 観察中、気づいたことを全て記録 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 全スタッフと患者の行動 ➢ 設備、装置、器具、服装など ● 素人の素朴な疑問を重視、プロの常識を疑う ● 観察後、すぐに整理 ● 観察中、疑問点を講師に質問 	別表参照
16:00～16:15	休憩			
16:15～18:00	教室実習	<ul style="list-style-type: none"> ● 医療福祉機器のコンセプト創出 <ul style="list-style-type: none"> ➢ グループごとに、ニーズの書き出し、brain-storming による needs screening、needs statement 作成 ➢ 機器のコンセプトを案出、スケッチ ➢ ピッチ（グループごとのプレゼンテーション） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 効率の良いプレスト法 ● 客観的ニーズ評価法 ● 国内と国外マーケットの違いを考慮した評価 ● ピッチの要点 	赤井（附属病院）、田端

富山大学メディカルデザインセンター・キックオフ（ワークショップ）
プログラム 2018. 8. 10.

病院施設実習 ローテーション

1カ所15分間程度

グループ A: 3階 手術室 → 1階 リハ室 → 1階 外来 → 2階 北2病棟

グループ B: 1階 リハ室 → 1階 外来 → 2階 南2病棟 → 3階 手術室

グループ C: 1階 外来 → 2階 北2病棟 → 3階 手術室 → 1階 リハ室

病院施設実習 現場アドバイザー

手術室:脳神経外科 赤井臨床教授

リハビリ室:石黒理学療法士

外来:西谷看護師長、水口副看護師長、清水スタッフ

北2病棟:上山看護師長、副看護師長

南2病棟:看護師長、副看護師長、他(未定)

グループ引率係

病院総務課 福島課長

田端

他1名(未定)

メディカルデザインセンター キックオフ (ワークショップ)

8月10日
金曜日
13:00~18:00
参加費無料



主催：富山大学大学院生命融合科学教育部
後援：富山県 共催：経済産業省中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局
場所：富山大学附属病院総合臨床教育センター多目的研修室2階

本学では平成30年度よりBiodesign バイオデザインを採り入れた大学院生命融合科学教育部**メディカルデザイン研究教育プログラム**をスタート、さらに産学連携による医療福祉機器開発の実践の場として**メディカルデザインセンター**(仮称)を開設します。バイオデザインは米国スタンフォード大学によって確立された、**医療・福祉の現場における患者や医療従事者の行動を観察して潜在的なニーズを探索し、多くのユーザーに役に立つ= "売れる、医療福祉機器等を効率的に開発する手法**です。メディカルデザインセンターのキックオフとして、入門講義に加え、病院施設でニーズ探索を行い、グループ・ブレインストーミングによって革新的な医療福祉機器を案出するワークショップを開催します。医学の専門知識は不要です。医療福祉関連産業に携わっている／参入することを検討されている企業の開発担当者、開発統括者、経営者の皆様、是非、先端的な開発手法をご体験ください。大学院生／研究生として本プログラムへの入学を検討されている企業人、学生やバイオデザインに興味をお持ちの大学教員の皆様のお試し受講も歓迎します。

講義 (13:00~14:30) **バイオデザインの手法と応用**

病院施設実習 (14:45~16:00) **医療現場におけるニーズ探索**
(病院施設実習に参加されない方にはビデオ教材等をご覧頂きます)

教室実習 (16:15~18:00) **医療福祉機器のコンセプト創出**

申し込み：電子メールでttabata@eng.u-toyama.ac.jpまで、参加希望者全員のご氏名、ご所属、ご役職、連絡先電子メールアドレス、病院施設実習を希望されるか否か、をお知らせください。締め切りは8月3日です。

定員：30名。病院施設実習につきましては、15名に絞らせて頂きます。

問い合わせ先：担当教員 田端俊英 (上記メールアドレス又は直通電話076-445-6742)

富山大学附属病院 富山市杉谷2630番地 TEL.076-434-2281(代表)



富山大学附属病院
 メディカルデザイン ワークショップ 駐車場案内

学生・教職員専用駐車場」のゲートから駐車券をとって中へお入りください。
 お帰りの際に無料券をお渡します。
外来患者用」に駐車されますと料金が発生してしまいますのでご注意ください。
 病院入口から入り、案内板に従って会場にお進みください。

